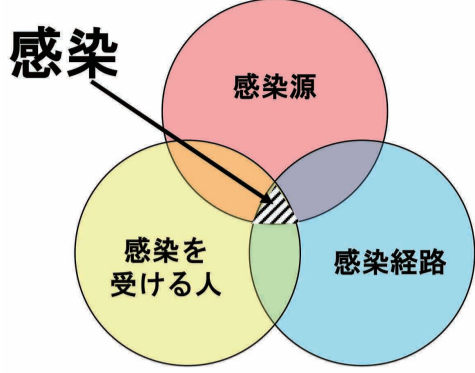


# 感染症について



新長彩加 感染管理認定看護師  
源、②感染経路(侵入方  
法)、③感染  
を受ける人、  
という3つの  
要因が全て必  
要です【図1】。

【図1】感染の3要因



## ■感染の3要因

感染が成立するため

感染が成立するためには、①感染源、②感染経路(侵入方法)、③感染を受ける人、という3つの要因が全て必要です【図1】。

## ■感染源について

私たちの身の回りに、目には見えませんが、たくさんの微生物が存在しています。その中には、私たち人間と共存している微生物もいれば、人間の害になる微生物もあります。では、微生物にはどんな種類があるのでしょうか。代表的なものを

【表1】感染経路別の代表的な感染症

感染経路	代表的な感染症
① 空気感染	結核、麻疹(はしか)、水痘(みずぼうそう) など
② 飛沫(ひまつ) 感染	インフルエンザ、風疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) など
③ 接触感染	ノロウイルス、薬剤耐性菌、疥癬(かいせん) など

【表2】ワクチンがある感染症

麻疹(はしか)	黄熱
風疹	ジフテリア
水痘(みずぼうそう)	百日咳
ポリオ	破傷風
ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)	結核
肺炎球菌感染症	日本脳炎
インフルエンザ	Hib感染症
B型肝炎	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
A型肝炎	ロタウイルス
	狂犬病

感染源とは、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して引き起こす病気のことです。身近なところでは、風邪、子どもの麻疹(はしか)やおたふくかぜ、ニュースでよく聞く食中毒なども感染症の一つです。感染症というからには何かしら形で「感染」していきますので、これをよく知ることが大切です。

感染源を排除すること、③に対しては「感染経路の遮断」、②に対しては「感染を受ける人の抵抗力の向上」などの対策があります。

感染源を排除すること、③に対しては「感染経路の遮断」、②に対しては「感染を受ける人の抵抗力の向上」などの対策があります。

感染経路(侵入方法)については、微生物が私たちの体内に侵入する方法は、主に三つあります。①空気感染・空気中を浮遊している微生物を吸い込んで感染すること。②飛沫(ひまつ)感染。咳やくしゃみで飛び散った微生物を吸い込んで感染すること。③接触感染。微生物に汚染された手や物を介して感染すること。

今回は、感染症について感染の3要因からの視点でお話ししました。目に見えない敵(微生物)は怖いものですが、この3つの要因を知り対策をすることで、感染症から身を守ることができます。ぜひ皆さんの健康管理にお役立てください。

それは、抵抗力が弱く、抵抗力が弱い方もいます。例えば、高齢者、乳幼児、入院している患者さんは免疫力が低く、感染症にかかりやすいといえます。自身が感染症にかかったときは、抵抗力が弱い人に感染症をうつさないよう配慮しましょう。

抵抗力(免疫力)を高めるためには、規則正しい生活をして、十分な睡眠や休息をとる、バランス良く栄養のある食事をする、体を冷やさないようにする、などが大事です。また、ワクチンが存在する感染症もあるのですが、接種により予防や重症化を防ぐということも考えられます【表2】。

感染を受ける人については、微生物が体内に侵入しても、微生物の感染力より、私たち人間の抵抗力の方が強ければ、感染症にはなりません。しかし抵抗力が落ちていたら、普段は何の問題もない微生物によって感染症になってしまうことがあります。

(榎川病院(広島市西区天満町) 新長彩加 感染管理認定看護師)